

東京・ZOOM（全7回）第3期
しっかり学ぶ。フルセミナー

概念型探究 ×ファシリテーション講座

先生と子どもたちがファシリテーターになって進める

概念型探究という言葉をご存知でしょうか。教師が教え、子どもたちが覚えるスタイルではなく、子どもたちが自ら学びを進める過程で「概念的理解」を構築する学び方です。また、教科を概念で串刺しにする教科融合のカリキュラムマネジメントが促進されるフレキシブルな学び方です。この講座では概念型探究の基礎を学び、先生や子どもたちがファシリテーターとして活動しながら「概念的理解」を構築する授業の設計や進め方を実践的に学びます。

みなさまのご参加をお待ちしています



申込

スケジュールと内容（詳細は裏面をご確認ください）

1	5月5日（日）12-19時 東京&ZOOM 概念型探究の授業とは
2	5月6日（祝）10-17時 東京&ZOOM 概念型探究の授業（単科）を構想する
3	6月23日（日）10-17時 東京&ZOOM 振り返り・教科融合の単元を構想する
4	7月21日（日）19-21時 ZOOM 単元末評価課題を設定する

5	8月・個人レッスン（50分）ZOOM 教科融合の単元計画のブラッシュアップ
6	8月18日（日）12-17時 東京&ZOOM 教科融合の単元計画のブラッシュアップ
7	12月8日（日）12-17時 東京&ZOOM 教科融合の単元のふりかえりとまとめ

参加費：136,000円 税込
認定講師116,000円
会場：東京23区内 or ZOOM



秋吉梨恵子

国際バカロレア（IB）ワークショップ
リーダー、リン・エリクソンとロイス
・ランニングの「概念型のカリキュラム
と指導」公認トレーナー兼プレゼンター



ちよんせいこ

株式会社ひとまち代表
ホワイトボード・ミーティング®
開発者



課題図書

お得な早割受付中！

3月20日までにお申込みの方は
10,000円割引



大阪市中央区大手前1丁目6番8号光養ビル702
TEL 06-6314-6779
info@wbmf.info

先生と子どもたちがファシリテーターになって進める

東京・ZOOM（全7回）第3期

概念型探究 ×ファシリテーション講座

第1回	<p>5月5日（日）12-19時 東京&ZOOM 概念型探究の授業とは</p> <ul style="list-style-type: none">①今、なぜ、概念型探究か（自立した学び手になる授業）②概念をベースとしたカリキュラムマネジメント③概念を通して学びを拡張し、学びの本質をつかむ授業④実践報告⑤知識の構造⑥一般化（概念的理解） <p>授業におけるファシリテーションの進め方</p> <ul style="list-style-type: none">①ファシリテーション6つの技術②ホワイトボード・ミーティング®で進める振り返り
第2回	<p>5月6日（祝）10-17時 東京&ZOOM 概念型探究の授業（単科）を構想する</p> <ul style="list-style-type: none">①プロセスの構造②授業を実際③思考を促す問い④実践のための小さな単元の授業案 <p>教科会議における会議ファシリテーション</p>
第3回	<p>6月23日（日）10-17時 東京&ZOOM 振り返り・教科融合の単元を構想する</p> <ul style="list-style-type: none">①単元マップ②一般化（概念的理解）③思考を促す問い
第4回	<p>7月21日（日）19-21時 ZOOM 単元末評価課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none">①課題設定②ループリック作成
第5回	<p>8月に調整 個人レッスン（50分）ZOOM 教科融合単元計画のブラッシュアップしよう①</p>
第6回	<p>8月18日（日）12-17時 東京&ZOOM 教科融合の単元計画のブラッシュアップしよう②</p> <ul style="list-style-type: none">①教科融合の単元計画の共有②授業での展開と活動案を設計③実践のための単元計画のスケジューリングと教材準備
第7回	<p>12月8日（日）12-17時 東京&ZOOM 教科融合の単元のふりかえりとまとめ</p>

講座はレクチャーと対話、実践と振り返りで進められます。

テキストの「思考する教室をつくる 概念型カリキュラムの理論と実践」を読んだ時には「正直に言うと難しくわかりませんでした」という方も、実際のプロセスを辿る中で「思考する教室」への理解を深め、その価値に気づきます。

講座では、学習指導要領や教科書を読み込みながら概念型探究の授業を構想します。自分の環境に合ったスタイルで、5-6月に小さな単元で、9月から12月に教科融合で単元計画を立て、実践と振り返りを通して学びを進めていきます。

期間中「わかった」と思う瞬間が何度もありますが、次の瞬間には、また「わからない」ことが生まれます。正解を探すのではない。正解のない問いを自分で、あるいは協働的に思考し、対話的に学びを深める。講座では、そんなラーニングコミュニティが育まれます。

教室では、子どもたちが自ら問いを立て、探究しながら概念的理解をつくり出すようになると、授業での学びを他の場面にも応用し始めます。学習の連続性やそれを支える友達との関係づくりも進みます。そして子ども自身が自分や友達の成長を実感し、意欲的に学びに向かう姿から、大人の私たちは多くを学びます。

また、概念型探究を進める時に不可欠となるファシリテーション技術の向上もめざします。授業の主役は子どもたち。先生と子どもたちがファシリテーターになると、学びは加速します。授業を効率的、効果的に進めていくことにもつながります。

